

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-013  
 担当 川口  
 内線等 316

PDCA	事務事業名	畜産環境対策推進事業	部課等名	市民経済部 経済課 農務担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 2. 農業 単位施策： (1) 継続的・安定的な農業経営の促進 個別施策： ①担い手の育成					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	畜産臭気軽減のために環境対策推進の各種補助金を交付することにより、畜産環境対策の推進に努める。					
	目的を達成するための手段・活動内容	畜産環境対策推進事業については、実施済みの臭気対策を検証し、特に効果が認められる消臭資機材に対しては、補助率を上げて事業者に交付することで臭気対策の推進を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①噴霧式消臭システムの設置数	0	0	0	件	
		②堆肥を市外に運搬した農家数	12	12	13	件	
		③消臭薬剤の購入した農家数	13	11	11	件	
		事業費	3015	3326	3678	千円	
		人件費	2855	3123	2484	千円	
	総事業費	5870	6449	6162	千円		
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①噴霧式消臭システム設置1件当たりの事業費	0	0	0	千円		
	②堆肥を市外に運搬した1農家当たりの事業費	83	138	131	千円		
	③消臭薬剤の購入した1農家当たりの事業費	78	60	87	千円		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①堆肥を市外に運搬した堆肥の総量	実績値	6798	6640	6853	t
目標値			6500	6500	6700		
②職員が敷地境界で測定したアンモニア濃度の平均値		実績値	0.1	0.1	-	ppm	
		目標値	0.1	0.1	91.4		
③職員が乾燥ハウス等で測定した家畜糞尿の含水率平均値		実績値	-	-	85.0%以上		
	目標値	-	-	85%以下			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	C 臭気対策事業として、消臭薬剤購入等への補助を実施し臭気の軽減に努めた。乾燥ハウス等で家畜糞尿の含水率平均値を85%以下にすることはできなかった。しかし、環境課と合同で実施した年3回の臭気測定では市の基準値を超える農場を農場数全体の1割に留めることができた。なお、基準値を超えた1割の農場についても適正な糞尿処理を行うように指導・助言を行った。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 大同大学との共同実証実験結果を受け、乾燥施設へ投入する家畜糞尿の含水率を85%以下に前処理するよう引き続き指導していく。また、臭気測定も引き続き実施し、現状を把握し、畜産農家へ通知することで適正な糞尿処理を実施するよう意識付けしていく。なお、基準値を超える畜産農家へは県等の関係機関と協力しながら臭気軽減の指導・助言を実施する。					
		成果指標	目標値	単位			
	令和2年度の目標	①堆肥を市外に運搬した堆肥の総量	6,700	t			
		②職員が乾燥ハウス等で測定した家畜糞尿の含水率平均値	85	%以下			